



発行：公益財団法人国際労務管理財団（I.P.M.）

東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング7F
http://www.ipm.or.jp/ TEL：03-3354-4841(代) FAX：03-3354-4847

TOPICS

ページ

YouTubeチャンネル登録者数が5000人を突破！	1
(株)アセットライフの実習生が日本語教室に参加しています	1
実習生の副業とSNSを利用した犯罪行為にご注意ください	2
地域との結びつきの強化に取り組めます	2
NAGOMiの活動報告	3
SDGsとI.P.M	3
職員レポート～国際化市民フォーラムに登壇しました～	4
担当職員から	4

YouTubeチャンネル登録者数が5000人を突破！

I.P.Mではスマートフォンを使用した日本語学習に対応するための一環として、2019年11月にYouTubeに日本語学習のためのチャンネル「IPM日本語チャンネル」を開設しました。同チャンネルでは日本語能力試験に合格するために各レベル、各試験形式を練習する動画や、日本で生活する際に起きがちなトラブルとその対処法を紹介する動画、日本で人気のある歌を紹介する動画など、実習生はもちろん、日本生活する外国人、日本語を学習している人々、外国人労働者と接する全ての方に役に立つ様々な種類の動画を2021年4月20日現在迄で、107編公開してまいりました。

そのYouTubeチャンネルの登録者数が今年3月に5000人を突破しました。現在も登録者数は増加しており4月20日現在5482人となっています。登録者数以外にも総再生回数18万回、総再生時間1.7万時間と、多くの人々に繰り返し見ていただいています。今後は更に実習生を含む日本語学習者や外国人と一緒に働き、生活する人々に向け、動画を投稿し、日本語能力試験の合格や、外国人とのコミュニケーション、日本で生活する際の一助となるように努めていきたいと思えます。

次は今年中に1万人の登録者数を目標に取り組んで参ります。是非、IPM日本語チャンネルに登録いただき、チャンネルをご活用いただければ幸いです。



さあ！いっしょにべんきょうしよう！

I.P.M. NIHONGO CHANNEL

(株)アセットライフの実習生が日本語教室に参加しています

株式会社アセットライフの実習生の皆さんが、江戸川区のボランティア団体が実施している日本語教室に毎月参加し、日本語力の向上に努めています。

今回、実習生からの「日本語レベルを向上させたい」という要望により、教室への参加が実現しました。日本語教室では、日本語の4つのスキル（会話、文法、読み、書き）に

ついて、受講者の日本語レベルや上達スピードに応じて学んでいます。

実習生の皆さんは、「皆さん優しく、とても楽しいです。この場で日本語の練習がいろいろ出来て、参加して良かったです。」と感想を教えてくださいました。

実習生の副業とSNSを利用した犯罪行為にご注意ください

4月8日、警察庁から2020年の在日外国人摘発状況が発表されました。近年の傾向どおり、技能実習にも縁の深いベトナム人や中国人の割合が高く、特にベトナム人の増加率が顕著になってきております。

その中でも、ベトナム人技能実習生の摘発人数は右上がりに増加しており、数年前までは留学生が大半を占めておりましたが、現在、それが技能実習生に置き換わりつつあります（図表1）。

最近の犯罪傾向としては、SNSを利用した犯罪が増加しているなどの特徴があります。昨今では、ほぼ全ての技能実習生がスマートフォンを所有しており、FacebookなどのSNSの普及で、情報の取得も大変早くなっております。家族・友人とのやりとりや、買い物はもちろん、生活上や技能実習上で困っていること等、何でも調べられる便利なツールとして扱われております。

これらの便利な側面だけではなく、誤った情報や、詐欺的な情報、犯罪を誘発させるような情報も合わせて増えてきております。これまでは、情報弱者として被害者になることが多かった技能実習生ですが、このような背景の下、加害者側になる時代になったともいえます。

先日も、I.P.M.から技能実習生に対して「副業の禁止」ということで、SNS犯罪に係る注意文を发出させていただいております。ぜひ、改めてご確認ください。

SNSを利用した犯罪だけではなく、SNSによるいじめなどもあります。I.P.M.としては、円滑で安全な技能実習のために、進んでいく技能実習生のIT化に即した、IT教育の指導強化を徹底してまいりたいと存じます。合わせて受入企業の皆様も、このような時代背景をご理解いただき、技能実習生への指導の強化に努めていただきたく、ご協力くださいますようお願いいたします。

図表1) 2016年-2020年 ベトナム人 在留資格等別総検挙人員

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
総検挙人員	2,179人	2,549人	2,924人	3,365人	4,219人
技能実習	505人 (23.2%)	770人 (30.2%)	976人 (33.4%)	1,434人 (42.6%)	2,082人 (49.3%)
留学	1,208人 (55.4%)	1,211人 (47.5%)	1,227人 (42.0%)	1,134人 (33.7%)	1,205人 (28.6%)
その他	466人	568人	721人	797人	932人

参考) 「令和2年度における組織犯罪の情勢について」 (警察庁,2021.04.08)



注意文書を各言語で
実習生に配布しています

地域との結びつきの強化に取り組みます

現在、I.P.M.では、金融機関、特に地域に特化した金融機関との連携に力を入れています。これまでも金融機関と共同セミナーの実施などを行ってまいりましたが、それをより包括的に実施する取り組みです。

そもそのきっかけは地銀の方からの相談でした。

昨今、銀行では、外国人材に関連する顧客からの質問が増加し、行員たちがその対応に苦慮している状況である

という話を受け、銀行員向けに日本における外国人材の現状や技能実習制度、在留資格等にかかる内容の説明を実施させていただきました。

本取り組みを通して、技能実習制度の一般への理解への拡充と外国人材の受入れの促進につながるものと考えております。今後進んでいく金融機関との取り組みを具体的に紹介してまいりますのでご期待ください。

NAGOMiの活動報告

当財団の理事長 池田 英人が理事に選任されている「一般財団法人 外国人材共生支援全国協会（以下、NAGOMi）」において、2021年3月25日にNAGOMi第3回理事会が開催されました。一般監理団体を対象とした技能実習制度についての実態把握調査（アンケート）の件について報告があり、調査では、技能実習制度の問題や改善点について各監理団体から意見が寄せられました。

2021年4月7日にはNAGOMi会長の武部勤氏から上川陽子法相に対し、外国人材総合的対応策に関する意見書と「『ワンチーム』のグローバル人材共生社会に向けて」と題する提言を提出しました。今後もNAGOMiでは、政府や自治体との連携を強化し、グローバル人材共生社会実現に向けた事業を推進していきます。

お知らせ

NAGOMiのホームページが開設いたしました！
<https://nagomi-asia.or.jp>



NAGOMi
 National Association for
 Global & Open Minded
 Communities

一般財団法人 外国人材共生支援全国協会
 National Association for Global & Open Minded
 Communities

SDGsとI.P.M.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



最近、このカラフルな模様をよく目にしませんか？これは、SDGsのロゴ及びアイコンです。SDGs（エスディー・ジーズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年の国連総会で採択された国際社会の共通目標です。

I.P.M.でも、2021年7月のUNGC（国連グローバル・コンパクト）署名をきっかけに、SDGsを日頃の事業活動において意識することとそのため勉強をはじめました。実は、外国人技能実習制度にも深く関わりがあるSDGs、本紙を通じて皆さまと少しでも共有できれば幸いです。

今回は、SDGsの概要とI.P.M.の事業との関わりについてご紹介します。SDGsは、「より良き未来を実現するために、今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画」として2015年9月の国連総会で定められました。17の目標と169の指標から構成されており、このうち、I.P.M.では以下の3つの目標達成に向けて取り組んでいます。

8 働きがいの経済成長も



ゴール8：包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進することを目標としています。I.P.M.では、外国人技能実習制度等の適正な実施・監理を通じて、外国人材の受入企業の皆さまとともにゴール8に貢献していると自負しています。

ゴール9：強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図ることを目標としています。I.P.M.では、外国人技能実習制度等を通じて人材の側面から日本の企業或いは外国人材送出国の産業をサポートすることで、ゴール9に貢献しています。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



17 パートナシップで目標を達成しよう



ゴール17：持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化することを目標としています。I.P.M.では、外国人材の送出国の関係機関をはじめ、外国人材共生支援全国協会（NAGOMi）や国連グローバル・コンパクト（UNGC）などの枠組みへの参加とメンバー組織との協力を通じてゴール17に貢献しています。

職員レポート～国際化市民フォーラムに登壇しました～

2月、東京都国際交流委員会が主催する国際化市民フォーラムにて「群馬県甘楽町での実習生支援と地域の共生」の事例について発表してまいりました。

私は、以前、JICA青年海外協力隊としてマレーシアにて活動しておりますが、コロナ禍の影響により日本へ帰国し、I.P.M.入団直前は、群馬県のNPO法人からのインターン募集を受け、日本で働く技能実習生のサポートに携わっておりました。

群馬県甘楽町は自然豊かな町です。企業と宿舍を往復するだけの実習生に日本で思い出を作ってほしい、地域の人々の理解を促進したい、そんな希望を持った企業と地域の農家と共に日本の農業体験を企画、休日に実習生を招いて野菜を植栽しました。初めて日本の農業機械に触れる実習生はとても楽しそうであったこと等を、実体験を交え、国

際化市民フォーラムに於いて報告いたしました。

そのような経験を経て、現在は、I.P.M.の一員となり、より多くの実習生と企業さんをサポートすべく業務に励んでおります。今回フォーラムの参加者の方々の反応をみて、人々が技能実習生に関心が高いこと、一方、実際の関わりが薄いことを実感しました。今後の取り組みの中で、企業と実習生のサポートを地域の方々を巻き込みながら行っていければと夢見ております。



担当職員から

初めまして。I.P.M. 東京 監理部に所属しております、山田 千尋と申します。主な業務の内容は、技能実習生の仕事面・生活面での指導、また技能実習制度において必要な資料等を作成しております。

I.P.M.へ入団する前、ベトナム・ダナンで日本語教師アシスタントをしていました。そこで技能実習生の方たちと知り合い、様々な話を聞きました。

その中でも日本で生活すること、日本語が上手くしゃべれないことへの不安等を聞くことが多くあり、日本へ帰国した際には彼らの不安を少しでも取り除き、安心して業務に取り組めるような手助けをしたいと考えようになりました。またその思いから、日本語に対する不安を除き少しでも楽しんで

勉強してもらいたいと、東京で日本語教師の仕事にも携わりました。

現在、様々な実習生の方と関わらせて頂いていますが、今後の目標に向け仕事を頑張っている方、職場や周りの日本人の方達とコミュニケーションを取るために日本語を頑張ろうと思っている方等、皆各目標に向かって頑張っている姿を見ると、私も頑張ろう、精一杯手助けさせて頂こうという気持ちになります。

受け入れ先の企業の方、また働かれる外国人労働者の方が安心して、お互いが気持ちよく業務に励める様、私もこのI.P.M.でサポートに励んでいきたいです。

(I.P.M.東京本部 山田)

編集後記

I.P.M.東京本部 総務部の鈴木と申します。2021年1月に入団し、新しくIPMニュースの担当になりました。前職では小売業のシステム担当をしていましたので、文章を書く仕事は初挑戦です。I.P.M.や実習生の活動の様子が伝えられるよう精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。(鈴木)

●次回は2021年8月1日発行予定です